

「察する」ということ

| | |
|-----|---|
| 著者 | 岡村 典子 |
| 雑誌名 | 新潟日報 上越かわらばん |
| 巻 | 383 |
| ページ | 2-2 |
| 発行年 | 2012-08-05 |
| URL | http://hdl.handle.net/10631/1035 |

看護大通信

〈 95 〉

今号では、「察する」輩がいました。

ということについて考え 患者さんから「きょう

てみたいと思います。察は、孫が見舞いに来るん

するには「他人の気持ちだ」と聞くと、その先輩

をおしはか

って同情し

県立看護大学 基礎看護領域講師

岡村 典子

たり、思いやったりする
こと」と、つまりは心情を

「察する」ということ

読むといった意味があり
ます。

看護師として病院に勤

務していた時、この察す

ることが大変得意な（得

意という表現がふさわし

いのか悩みますが…）先

てほしいな、でも点滴を 行為が、善意として届か にも変化が生じ、察する

していればお孫さんを抱 ないこともあるようで ことがなくなってきたこ

きあげることができない す。相手から「余計なお とを嘆いていました。

かもしれない」といった 世話」といった思わぬ返 こうした背景をふまえ

思いが隠されていまし しがあることで、双方の ると、察した思いをその

思いがすれ違ってしまう ままにするのではなく、

患者さんの気持ちを察 ことは大変悲しいことで かつすぐに行為化するの

して、先取りのケアを展 ず。

でもなく、「どうしまし

谷崎潤一郎は、文章読 たか「何かお手伝いす

本（1975年、中央文 ることがありますか」と、

やんわりと言語化するの はどうでしょう。

は「では、予定していた 開するという先輩の姿を 連）のなかで、日本語の

みて、私も早く先輩のよ 語彙が乏しいこと、そし で想像の幅が生まれると

うになりたいと日々精進 て、それを補うものとし ともに、相手を思いやる

していたことを思い出し て読者の想像力（察する 気持ちが素通りせずには

ます。 力）をとりあげています。 んわりと届くように思う

ただ、最近はこの察す ただ、西洋の文章が入っ のですが…

ることによってとられた てきたことで日本の文章